

2008年6月20日

お得意先 各位

伊藤忠飼料株式会社

2008年7～9月期の配合飼料供給価格について

当社は2008年7～9月期の配合飼料供給価格について、以下の飼料原料・外国為替情勢を踏まえ、2008年4～6月期に対し、全国畜種平均トン当たり約2,200円値上げすることを決定致しました。尚、改定額は地域別・畜種別・銘柄別に異なります。

I. 主原料市況

トウモロコシのシカゴ定期は、今年度の作付面積が前年比8%減少と報告されたことや、低温多雨型の天候が続き作付け遅延が懸念されたことから、4月初旬に初めて600セント/ブッシェルの大台を超えました。6月に入り中西部を襲った豪雨により、更なる作付面積減少と単収の低下が懸念され、史上最高値を更新となる700セント/ブッシェル超えの水準で推移しております。

今後も生育進度・作況の悪化が懸念されることから、高値圏での推移が見込まれます。

II. 蛋白原料市況

大豆粕のシカゴ定期は、大豆の作付面積増加等により330ドル/ショートトン程度で推移していましたが、原油価格の高騰や、アルゼンチンにおける輸出新税を巡る政情等の影響により400ドル/ショートトン超えまで高騰しております。7～9月期の大豆粕価格は、一時安値場面もあったことから、4～6月期に比べ若干下がる見通しです。

III. 海上運賃

海上運賃は、\$120/トン台で推移していましたが、中国の鉄鉱石輸入が史上最高水準であることや、南米の荷動き増による滞船、燃料価格の高騰により、\$140/トン超えまで急騰しました。今後も、旺盛な船腹需要により高値での推移が予想されております。

IV. 外国為替

外国為替は、4月以降、104円中心に推移していましたが、米当局より、ドル安がインフレや市況商品高に繋がるとの懸念に、ドル安阻止の姿勢が示されたことからドルは買われて、108円内外の円安ドル高で進んでおります。

以上

(お問合せ先)

伊藤忠飼料株式会社

飼料営業統轄部 (三枝、政住)

TEL : 03-5626-3231